



鹿児島市立星峯中学校
令和5年度学校だより

星中だより



学校教育目標 「他とともに、よりよく生きる生徒の育成」

校訓 「ひたすらに求め ひたすらに進む」

学校ホームページ <http://keinet.com/hoshigac>

権利には義務が伴う

校長 益満裕美

二十四節気のうちの一つ「寒露」を過ぎました。朝晩は、肌寒さを感じます。それにしても今年の夏は暑さが厳しく、長い期間続きました。気象庁によると今年の9月の平均気温が、平年値（1991～2020年の平均）を2.66度上回り、1898年の統計開始以降で最も高くなったそうです。夏が長くなったため、秋がとてつもなく貴重な季節に感じます。秋といえば、食欲の秋、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋、行楽の秋……などいろいろと連想されます。学校では10月27日の星の祭典に向け、合唱の練習や舞台発表・展示発表の準備に励んでいる姿が見られます。どんな発表を見せてくれるのか本番がとてつもなく楽しみです。

さて、10月3日に生徒会役員選挙が行われました。今年の立候補者は11人、全ての立候補者が自分の思いを、自分の言葉で伝えられていました。また、演説をする側、演説を聞く側ともにしっかりとした姿勢で臨んでいました。投票前に、次のことを話しました。「皆さんには選挙権があります。選挙に参加することも一つの義務です。ただ、参加の姿勢が大切です。皆さんが、どういう思いで投票するかということです。前期の生徒総会でも話しましたが、『自分には何ができるか』を考えること。それが、生徒会のスローガン『みんなで創ろう 星中を』に通じます。つまり、**権利には義務が伴う**が、皆さん一人一人が星峯中のことを真剣に考えて選挙に参加することが義務を果たすということです。」

今回の生徒会役員選挙により新たな生徒会長、副会長が決定しました。生徒一人一人の思いが込められた投票の結果、選出された人たちです。新生徒会役員には、前生徒会が築いてきたものを継承しつつ、星峯中学校に新たな風を吹かせてくれることを期待します。また、その新たな風を後押しするのは、生徒一人一人であることを忘れずに。

【寒露】

露が冷気によって凍りそうになるころ。雁（がん）などの冬鳥が渡ってきて、菊が咲き始め、蟋蟀（こおろぎ）などが鳴き始めるころ。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

〈星峯中の風景〉

学年朝会（2年：学級対抗のレクリエーション）



クラスの絆が深まります！

日	曜	11月 主な行事
2	木	英検IBA（6校時） 自由参観日（8:50～12:45）
3	金	文化の日
6	月	食に関する講話（3年）
7	火	学年朝会
9	木	★内西SC
10	金	家庭学習強化週間・テスト前 部活動中止（～16日） 3年PTA
11	土	生徒総会 健康教室（3年）
14	火	学級生徒会
15	水	期末テスト（～17日）
20	月	★大坪SC(PM)
21	火	全校朝会 性教育教室（1年） 生徒会代議員会・専門部会
22	水	三者相談（3年） キャプテン会 ★内西SC（AM）
23	木	勤労感謝の日
24	金	三者相談（3年） 学力向上学習（教育相談）
27	月	三者相談（3年） 学力向上学習（教育相談）
28	火	生徒集会 三者相談（3年） 学力向上学習（教育相談）
29	水	三者相談（3年） 学力向上学習（教育相談）
30	木	三者相談（3年） 学力向上学習（教育相談） ★内西SC（AM）

新しい職員の紹介

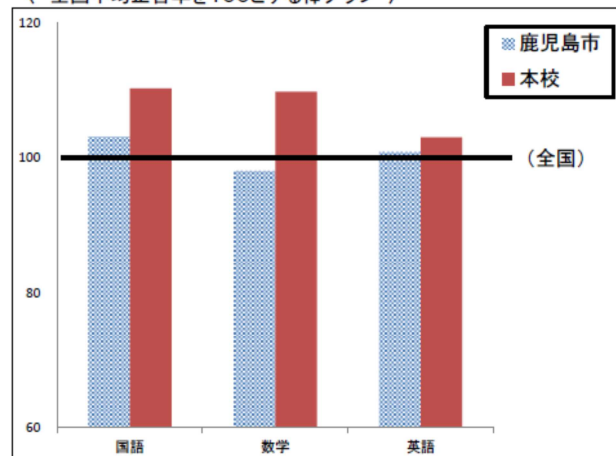
福永哲二学校主事の転出に伴い、10月1日に池田千尋学校主事が着任されました。よろしくお祈りいたします。



全国学力・学習状況調査より

令和5年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されましたのでお知らせします。

1 各校・市・全国の平均正答率の比較 〈全国平均正答率を100とする棒グラフ〉



2【課題に対する改善策】

《国語》

全体では、鹿児島県、全国の平均を大きく上回っている。思考・判断・表現等の分野別においても、すべての項目で、鹿児島県、全国の平均を上回っている。目的や場面に応じて質問をする内容を検討する設問や、事象や行為、心情を表す語句の理解に関する設問の正答率がやや低かったため、目的や場面に応じ思考・判断・表現させる場面を取り入れたり、言葉の特徴や使い方に関する指導に継続的に取り組んだりしていく。

《数学》

全体では、鹿児島県、全国の平均を上回っている。知識・技能、思考・判断・表現等の分野別においても、すべての項目で鹿児島県、全国の平均を上回っている。数と数式の乗法の計算の問題で、県、全国より大きく下回っており、また、問題場面における考察の対象を明確にとらえることができるかをみる問題が県、全国よりやや下回っていたため、日々の計算問題に取り組むことにより計算力向上に努め、知識・技能を高める場面をより多く取り入れていく。

《英語》

全体では、鹿児島県、全国の平均をやや上回っている。知識・技能、思考・判断・表現の各項目においても、すべての項目で鹿児島県、全国の平均を上回っているが、問題別集計では、5つの問題が、鹿児島県、全国の平均を下回っていた。特に、情報を正確に聞き取ったり、読み取ったりする問題、社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書く問題に課題が見られた。「聞く、読む、書く」の場면을効果的に取り入れた指導を継続的に取り組んでいく。

《全体を通して》

生徒質問紙の結果より、本校の生徒は規範意識が高く、志を高く持ち、学校生活をしているが、計画的に家庭学習を行うことや課題がみられるので、学習計画を立てさせながら日々の学習に取り組ませていく。また、授業の中で新聞等を活用し、さまざまな情報やデータを読み取り活用する力を身につけさせたい。新聞や書物だけでなく、授業の中でのICT機器の活用が少ないとの回答が多かったため、効果的に活用する場面を取り入れていく。

